Warabeya Nichiyo HLDGS.

2024年2月期
第２四半期
（2023年3月1日～2023年8月31日）

決算説明会

2023年10月11日

わらべや日洋ホールディングス株式会社
東証プライム： 2918

グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

経営理念

お客様のニーズを追求し、変革を推進します。

コンプライアンスを実践し、透明性の高い経営を行い、
社会から信頼される企業を目指します。

人を育て、働きがいのある、環境にやさしい企業を目指します。

■ 2024年2月期 第2四半期業績

■ 2024年2月期 業績予想

■ 持続的成長に向けた取り組み

連結業績｜上期

各利益は過去最高を更新

（単位：百万円）	2023年2月期上期 実績	2024年2月期上期 予想	2024年2月期上期 実績	前年同期比	予想比
売上高	97,858 100.0%	101,000 100.0%	103,011 100.0%	+5,152 +5.3%	+2,011 +2.0%
営業利益	3,376 3.4%	3,650 3.6%	4,491 4.4%	+1,115 +33.0%	+841 +23.1%
経常利益	3,058 3.1%	3,950 3.9%	4,862 4.7%	+1,803 +59.0%	+912 +23.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,606 1.6%	2,400 2.4%	2,758 2.7%	+1,151 +71.7%	+358 +14.9%
EPS（円）	91.99	137.42	157.95	+65.96	+20.53

＊ 売上高～四半期純利益　上段：金額　/ 下段：売上比、増減率
＊ 予想　2023年4月11日発表の予想数値
＊ 上期為替レート（1＄）23/2期　実績 136.7円　24/2期　期初想定 132.7円　実績 134.9円
（注）為替換算は今期から期中平均レートに変更（従来は期末レート）

事業セグメント｜上期

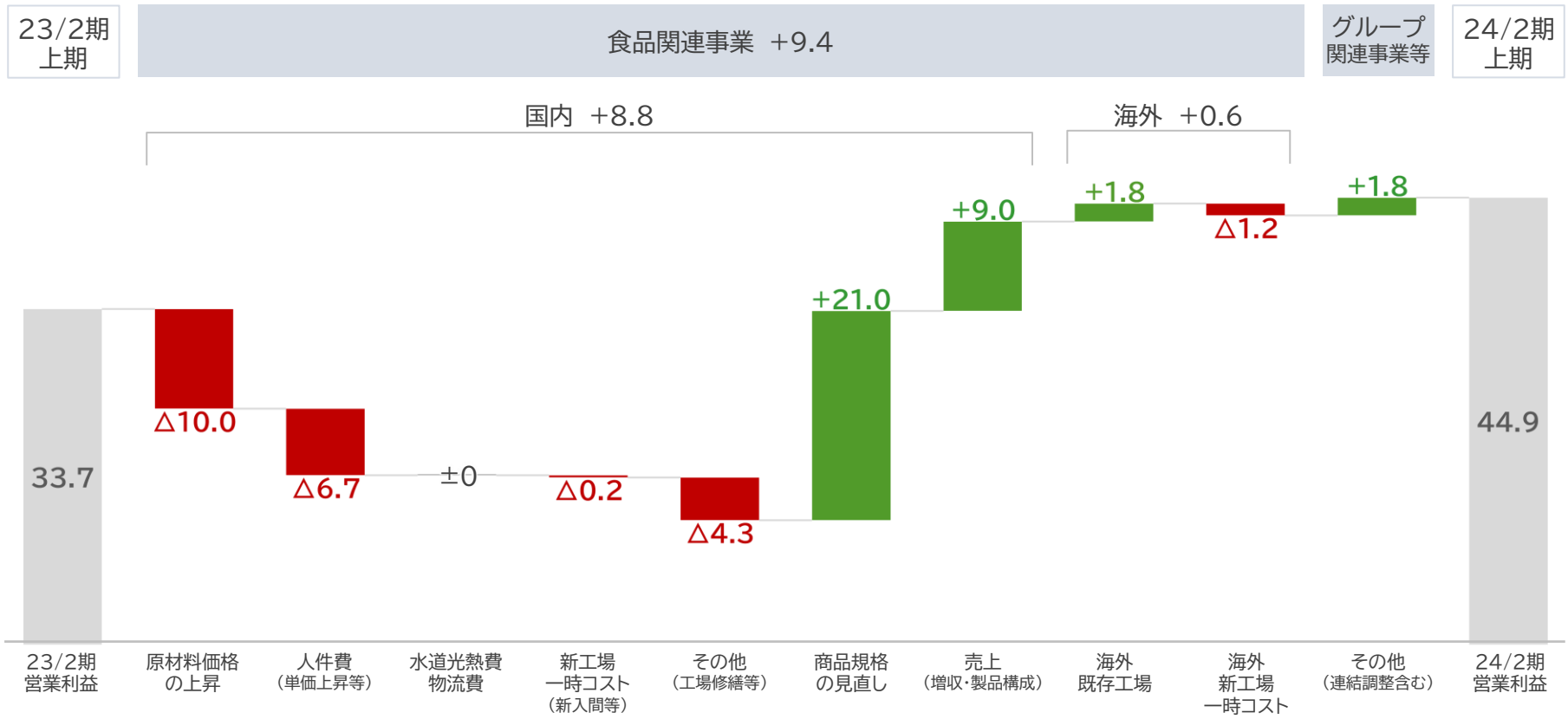
各事業で前年同期比、増収増益

（単位:百万円）		2023年2月期 上期	2024年2月期 上期	前年同期比		増減の主な要因
				増減額	増減率	
食品関連事業	売上高	85,390	90,487	+5,097	+6.0%	売上 【国内】840億円（前年同期比+46億円） 新型コロナによる悪化影響からの回復 好調商品: おにぎり 【海外】64億円（前年同期比＋4億円） 現地での売上増加 利益 【国内】+8.8億円 【海外】+0.6億円
	営業利益	3,389	4,328	+939	+27.7%	
食材関連事業	売上高	5,762	5,973	+211	+3.7%	売上 利益 おにぎり用具材の取扱高増加
	営業利益	36	163	+126	+342.6%	
物流関連事業	売上高	6,505	6,507	+2	+0.0%	利益 共同配送事業の取扱高増加
	営業利益	353	419	+65	+18.6%	
そ の 他	売上高	201	43	△ 158	△ 78.6%	食品製造設備関連事業 新規受注は既に終了（2024年2月29日に事業撤退予定）
	営業利益	△ 50	△ 24	+25	－	
調 整 額	営業利益	△ 353	△ 394	△ 41	－	
合 計	売上高	97,858	103,011	+5,152	+5.3%	
	営業利益	3,376	4,491	+1,115	+33.0%	

営業利益増減分解｜上期実績

原材料価格と人件費の上昇を商品規格の見直しでカバー

（単位：億円）



事業セグメント｜上期予想比

各事業セグメントで売上高・営業利益の予想を達成

事業セグメント別予想との差異

（単位：億円）

売上高	＋ 20.1
食品関連事業	+19.4
国内	+17.9
海外	+1.5
食材関連事業	+0.7
物流関連事業	0.0
その他	0.0

（単位：億円）

営業利益	+8.4
食品関連事業	+7.0
国内	+6.3
（主な内訳） 水道光熱費・物流費	+5.0
商品規格の見直し	+3.0
人件費の増加	△2.9
海外	+0.7
食材関連事業	+0.8
物流関連事業	+0.9
その他	△0.1

＊ 予想　2023年4月11日発表の予想数値

営業外損益・特別損益

（単位：百万円、%）	2023年2月期 上期		2024年2月期 上期		前年同期比増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増減率
営業利益	3,376	3.4	4,491	4.4	+1, 115	+33.0
営業外収益	499	0.5	626	0.6	+126	+25.4
営業外費用	816	0.8	255	0.2	△560	△68.7
経常利益	3,058	3.1	4,862	4.7	+1,803	+59.0
特別利益	500	0.5	－	－	△500	－
特別損失	661	0.7	687	0.7	+25	+3.8
税金等調整前四半期純利益	2,896	3.0	4,174	4.1	+1,278	+44.1
法人税等合計	1,209	1.2	1,356	1.3	+147	+12.2
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	0.1	59	0.1	△21	△26.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,606	1.6	2,758	2.7	+1,151	+71.7

営業外損益	前年同期比 ＋6.8億円		前年同期比
		持分法による投資損益（前期損失の解消）	＋5.3億円
		その他（為替差益等）	＋1.5億円

特別損益	前年同期比 △5.2億円		23/2期 上期	24/2期 上期
		特別利益　事業譲渡益（新潟工場）	5.0億円	－
		特別損失　減損損失	6.6億円	6.8億円

貸借対照表、キャッシュフロー計算書

有形固定資産・負債の増加は米国投資が主因

連結貸借対照表

（単位：百万円）	23年2月末	23年8月末	増減		23年2月末	23年8月末	増減
流動資産	32,344	34,689	+2,344	流動負債	22,079	25,076	+2,996
固定資産	60,339	64,525	+4,185	固定負債	19,074	20,124	+1,049
（有形固定資産）	51,310	54,486	+3,175	（長・短有利子負債合計）	15,154	16,305	+1,150
（無形固定資産）	314	860	+546	負債合計	41,154	45,200	+4,045
（投資その他）	8,714	9,178	+463	（利益剰余金）	33,183	34,796	+1,613
				純資産合計	51,529	54,014	+2,484
資産合計	92,684	99,214	+6,530	負債・純資産合計	92,684	99,214	+6,530

連結キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）	2024年2月期 上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,517
（減価償却費）	2,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	339
現金及び現金同等物の増減額	△1,614
現金及び現金同等物の期首残高	11,189
現金及び現金同等物の期末残高	9,574

■ 2024年2月期 第2四半期業績

■ 2024年2月期 業績予想

■ 持続的成長に向けた取り組み

連結業績｜通期予想

各利益で過去最高更新を見込む

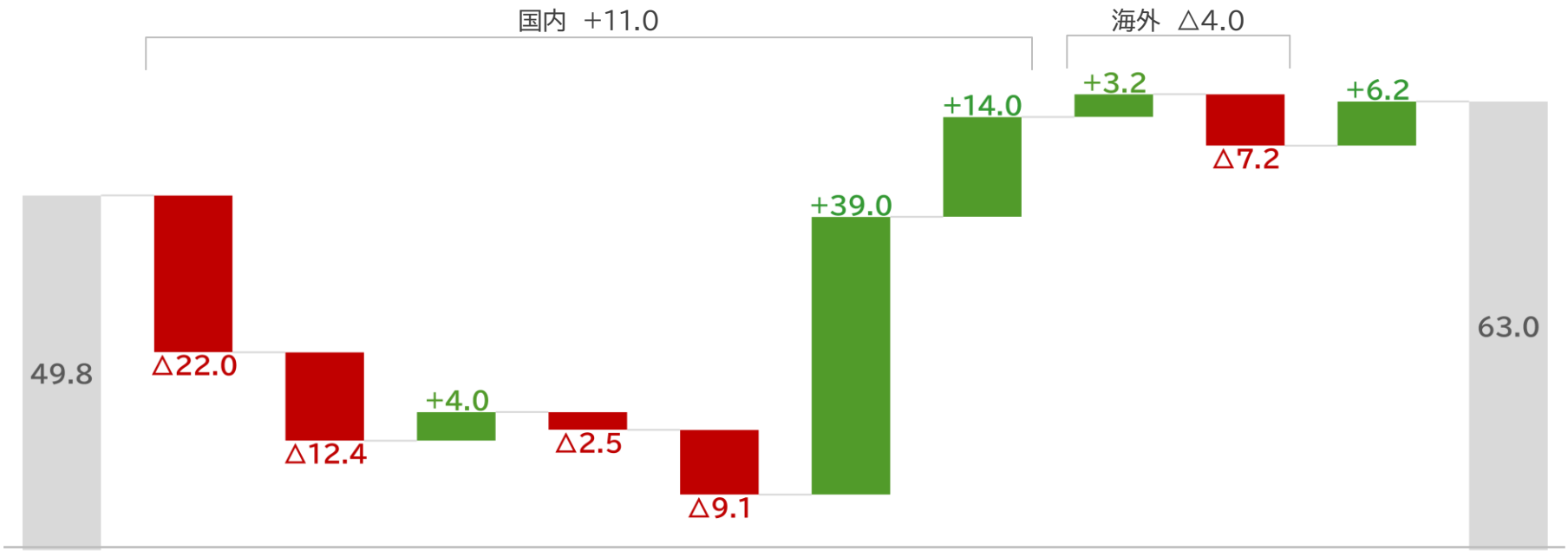
（単位：百万円）	2023年2月期 実績	2024年2月期 期初予想	2024年2月期 修正予想	前期比	期初予想比
売上高	194,416 100.0%	204,000 100.0%	208,000 100.0%	+13,583 +7.0%	+4,000 +2.0%
営業利益	4,985 2.6%	5,200 2.5%	6,300 3.0%	+1,314 +26.4%	+1,100 +21.2%
経常利益	4,628 2.4%	5,550 2.7%	6,750 3.2%	+2,121 +45.8%	+1,200 +21.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,810 1.4%	3,200 1.6%	4,000 1.9%	+1,189 +42.3%	+800 +25.0%
EPS(円)	160.94	183.23	229.04	+68.1	+45.81

＊ 売上高～当期純利益　上段：金額　/ 下段：売上比、増減率
＊ 期初予想：2023年4月11日発表の予想数値　修正予想：2023年10月6日発表の予想数値
＊ 通期為替レート(1＄) 23/2期　実績 132.7円　24/2期　期初想定 132.7円　修正想定 134.9円
(注) 為替換算は今期から期中平均レートに変更(従来は期末レート)

営業利益増減分解｜通期予想

コストの増加を商品規格の見直しで吸収

（単位：億円）



	23/2期営業利益	原材料価格の上昇	人件費（単価上昇等）	水道光熱費物流費	新工場一時コスト（新入間等）	その他（工場修繕等）	商品規格の見直し	売上（増収・製品構成）	海外既存工場	海外新工場一時コスト	その他（連結調整含む）	24/2期営業利益
上期	33.7	△10.0	△6.7	－	△0.2	△4.3	+21.0	+9.0	+1.8	△1.2	+1.8	44.9
下期	16.1	△12.0	△5.7	+4.0	△2.3	△4.8	+18.0	+5.0	+1.4	△6.0	+4.4	18.1
通期	49.8	△22.0	△12.4	+4.0	△2.5	△9.1	+39.0	+14.0	+3.2	△7.2	+6.2	63.0

（注）上期および23/2期営業利益はいずれも実績

■ 2024年2月期 第2四半期業績

■ 2024年2月期 業績予想

■ 持続的成長に向けた取り組み

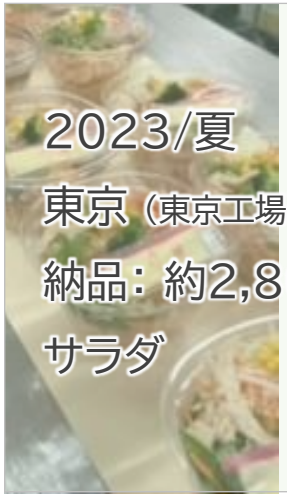
3つの柱の取り組み

国内 （食品関連事業）	・利益の改善 ・消費者需要の追求
海外 （食品関連事業）	・事業拡大
グループ関連事業	・収益性向上

【国内】利益の改善・消費者需要の追求 ①

売上ポートフォリオの変化

- 新たな製造商品群による利益の拡大
- 多様な商品群の開発力と製造力を生かした、独自性が高い商品の供給に取組む



2023/夏
東京（東京工場）
納品：約2,800店
サラダ

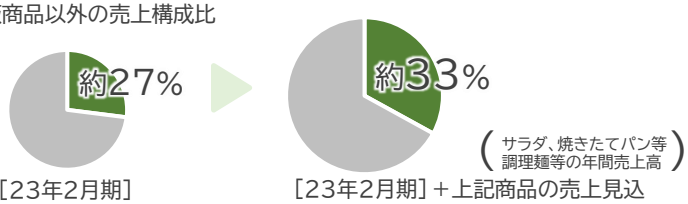
2024/春
群馬（北関東工場）
納品：約1,000店
焼きたてパン、ドーナツ、ドリア

2024/春
埼玉（新入間工場）
納品：約1,500店
調理麺、パスタ

市場規模の大きい首都圏で売上ポートフォリオの変化が進む

変わる売上ポートフォリオ

米飯商品以外の売上構成比



2024年春 2つの工場が製造を開始

- 北関東工場（焼きたてパン）
- 新入間工場（調理麺）

国内25工場体制へ

【国内】利益の改善・消費者需要の追求 ②

チルド商品の拡大で見込まれる変化

- 食材の特徴を生かした商品の増加
- 製造ライン、工場の再編などによる生産効率の向上

チルド商品

- チルド管理が求められる食材の積極的な活用が可能
- 消費期限が長く、販売機会損失や食品ロスを低減

長い
消費期限

アイテム集約

同一商品の製造工場を集約し生産効率を高める

機械化

少品種多量生産で機械化設備導入のハードル低下

サーモンポキ丼
ごま油醤油・スパイシーマヨ

鮮度が大事なサーモンを使い本格的な味を再現、2種類の味を一度に味わえます

とろっとろ玉子の親子丼

十分な衛生対策が求められる卵もチルドならクリア、とろっとろ玉子の親子丼を手軽に楽しめます

WRAP DELI
タコスミート(仮称)

野菜をふんだんに使いヘルシーさとボリュームを両立、シャキシャキ野菜と大豆を原料にしたタコスミートが特徴

北海道十勝産小豆使用
生どら焼

チルドの特徴を生かしたホイップクリームを使ったどら焼で、砂糖を減らし甘さ控えめ

加賀屋監修
鶏肉と野菜の炊き合わせ

加賀屋監修カップデリ
材料ごとに適した調味・調理をした具と、いしる(魚醤)の出汁の組み合わせ

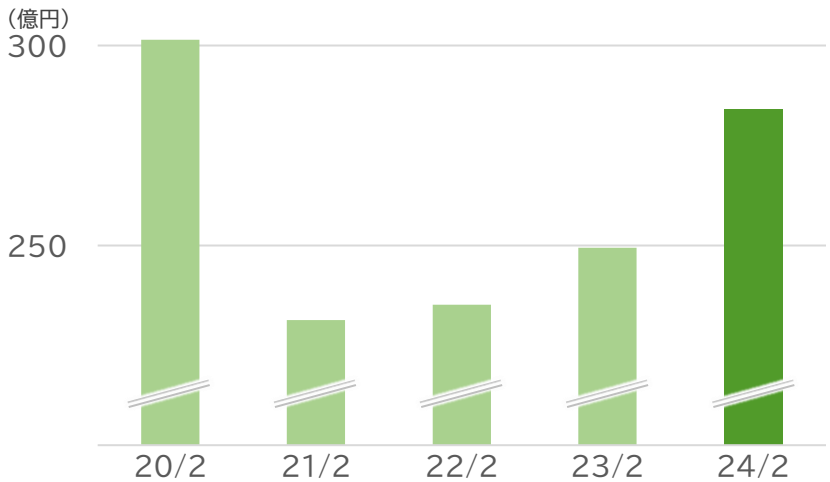
【国内】利益の改善・消費者需要の追求 ③

おにぎりの需要

- 松竹梅のプライシングによるアプローチで数量増と単価上昇を両立
- ニーズに合わせた多様な商品展開

販売が復調するおにぎり

上期売上高



炙り焼きソーセージ

厚切りのソーセージを丸ごと1枚使用

(180円)

熟成旨味仕立て辛子明太子

持続可能なアラスカシーフードのスケソウダラを使用

(175円)

いかめし

いかめしの阿部商店監修

(180円)

銀しゃりおむすび
牛そぼろ

八代目儀兵衛が監修したこだわりのブレンド米

(150円)

一番だしおむすび
しょうがめし

さっぱり食べすすむ生姜と昆布の組み合わせ

(110円)

(注) 売価(税抜)は10月時点(期間限定商品は直近販売時)のもの

【海外】事業拡大 ①

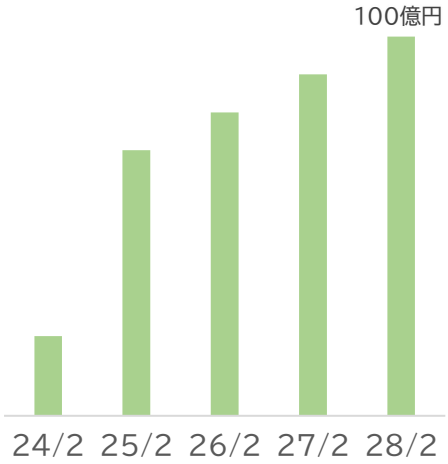
バージニア工場

・店舗への納品を2023年9月12日から開始

・中計最終年度（28/2期）に売上高100億円を目指す

所在地	バージニア州スタフォード
延床面積	約11,800m2
仕様	鉄骨造1階建
納品エリア	バージニア州、ペンシルバニア州、メリーランド州、デラウェア州、ノースカロライナ州、ワシントンDC

バージニア工場の
売上高計画（中計）



*上記における想定為替レート（1＄）132.7円

【海外】事業拡大 ②

Pizza

Slider

Sweet Bread Sandwich

Ramen Salad

スライダー

テキサスの定番商品
バージニアでは食べやすさと見栄えの良さをブラッシュアップ

タコス

納品先エリアでこれまで販売の無かったタコス

オープンハウス（説明会）

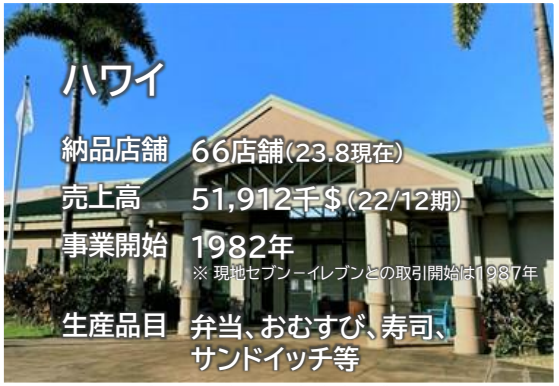
8月にオーナーを対象としたプレゼンテーションや工場見学ツアー、試食会を実施

【海外】事業拡大 ③

米国への集中

・市場の拡大が続く米国への経営資源の投下

・40年を超える海外での事業ノウハウの活用



*ハワイの売上高には自社運営店舗等の売上を含む

事業展開

当社の納品エリア

オハイオ稼働後の北米納品店舗数	3,500店超
北米(SEI)の店舗数(2021年度)	13,213店

(イメージ)

【グループ関連】収益性の向上

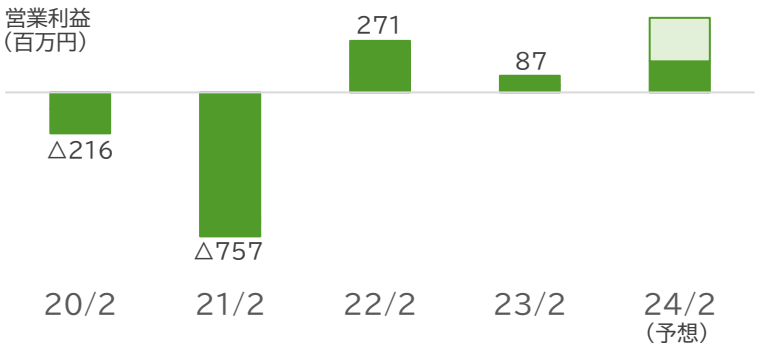
選択と集中による経営資源の投下

・市場ニーズを踏まえた既存事業領域の拡大と深耕

・将来を見据えた新たな事業の開拓

食材関連事業

付加価値による収益性向上に取り組む

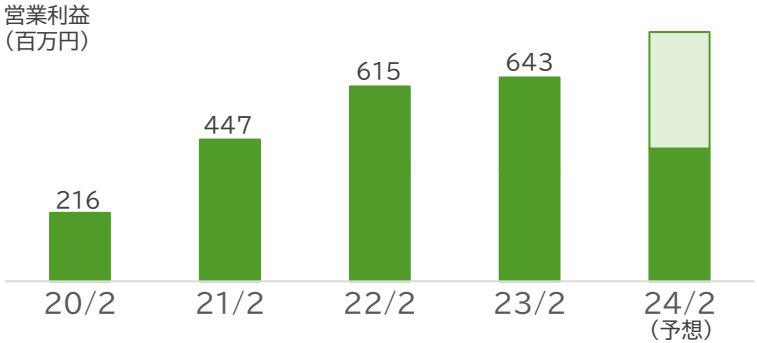


（1）調達力・購買力の強化

（2）海外での食材加工事業の開始

物流関連事業

着実な収益性の向上



（1）冷蔵/冷凍倉庫の新設

（2）EC配送・倉庫業務の新規受託

（3）2024年問題への対応

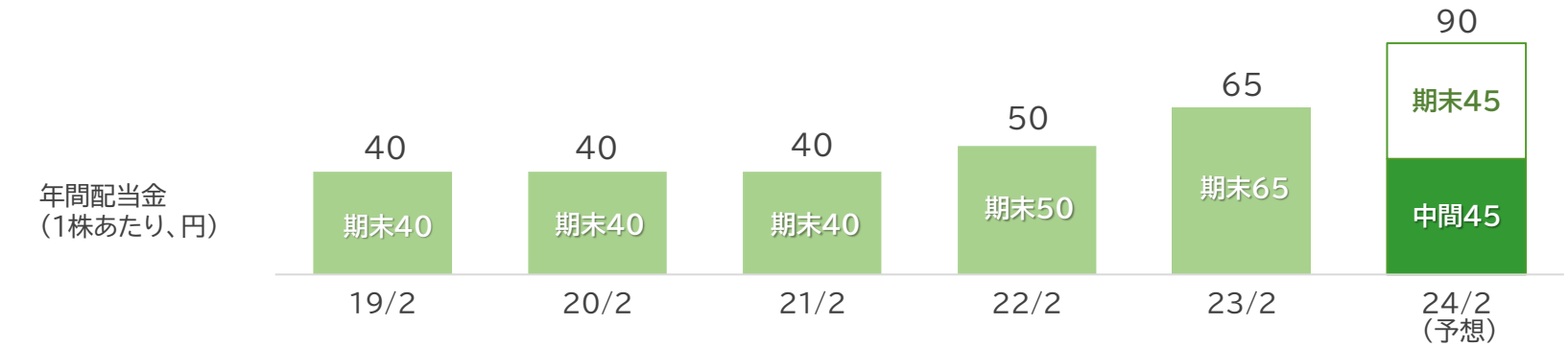
株主還元

配当予想の修正

・業績予想の修正を受け配当方針に基づき配当予想を修正

・期初予想から通期20円の増配（期初予想: 中間35円 + 期末35円 = 年間70円）

配当金



	19/2	20/2	21/2	22/2	23/2	24/2（予想）
配当性向（%）	115.0	69.5	102.5	26.7	40.4	39.3
配当総額（百万円）	704	704	704	880	1,144	1,585
EPS（円）	34.78	57.55	39.04	186.98	160.94	229.04

配当方針

業績予想の修正を受け連結業績や今後の事業拡大投資のための内部留保などを勘案しつつ、連結配当性向40%をめどに安定的・継続的に配当を実施する。

サステナビリティ

循環型社会への貢献

動植物性残渣（ざんさ）

産業廃棄物に分類される当社が製造の過程で排出する魚の骨、内蔵、皮、果物や野菜くずといった動植物残渣を分解削減する設備を、本年8月に岩手工場へ導入

この設備により岩手工場の動植物性残渣年間排出量を半減できる見込みで、今後、他工場での展開を予定

岩手工場で稼働を始めた、微生物を使い動植物性残渣を水と炭酸ガスへと分解する完全消滅型のバイオ式生ごみ処理機

食の喜びの提供

地産地消商品の開発

地域の食材を使い地域に根差した商品の開発・製造を通じ、味や文化の浸透、食材の有効活用に取り組む

[一例]

上伊那産アスパラの
バター醤油パスタ
市場に出荷できない規格外品のアスパラガスを有効活用
（販売：長野県、山梨県）

陸奥湾産帆立の
ほたてごはんおむすび
青森県産の帆立を使用
（販売：青森県等の東北地方）

ニラ玉豚丼
市場に出荷されない富山県産「アルギットニラ」の処理部分を有効活用
（販売：石川県、富山県、福井県）

岩手県産二子さといもの
いもの子汁
岩手県の郷土料理、伝統野菜でGI認証を受ける岩手県産「二子さといも」を使用
（販売：岩手県、青森県、秋田県）

働きがい、人権と多様性の尊重

サステナビリティ研修

SDGsの重要性を理解し、工場で推進することを目的に、工場長を対象としたサステナビリティ研修を実施

本資料には、当社の本資料作成時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれています。

この「将来予測に関する記載」には本資料発表時点までに入手可能な情報に基づいた当社の経営判断や前提が述べられており、諸与件の変化により実際の業績が「将来予測に関する記載」とは異なる可能性があります。

したがって、本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来にわたって正確であることを保証するものではありません。

Warabeya Nichiyo HLDGS.

わらべや日洋ホールディングス株式会社

お問い合わせ先

わらべや日洋ホールディングス株式会社
経営企画部
E-Mail: keiei-kikaku@warabeya.co.jp
Tel　: 03-5363-7194